



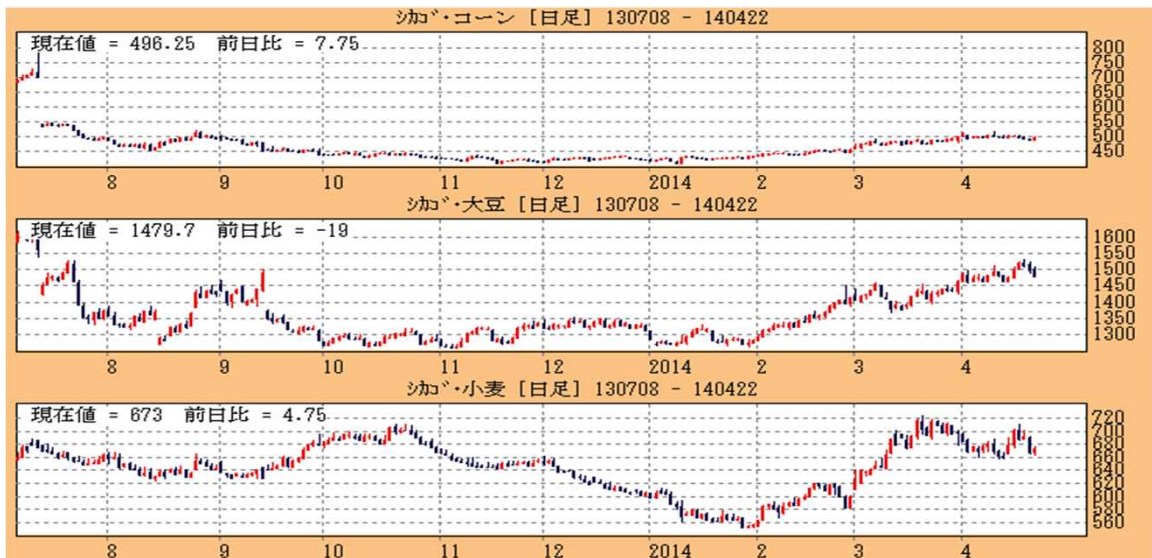
週刊穀物



世界の穀物情報がここに凝縮されています。
毎週水曜夕方発行

トウモロコシと小麦は上昇、大豆下落

発行日 : 2014/4/23



22日のシカゴコーン5月限は7.75セント高の496.25セント。最近の産地の低温や降雨により作付けが平年を下回ったことを好感、ドル安やメキシコ向けの大口成約をはやして5ドルを上回った。ドル反発や原油の急落で下押されたが、プラスを維持したあとは、押し目買いが入って抵抗を突破した。立会時間は、4.00セント高で寄り付いたあと、投机買いが続いて時間外取引の高値や節目の5ドルを突破した。上昇が一服したあと、ドル反発や原油急落、大豆の急反落で495.75セントまで後退したが、プラスを維持したあとは、押し目買いが入って朝方の抵抗を抜き、506.00セント（12.25セント高：2.5%）まで値を飛ばした。

最近の低温や降雨により、作付けが平年より遅れていることが支援材料。最大生産州のアイオワ州の作付けは2%終了、首位を争うイリノイ州は5%終了と、ともに過去5年平均（11%、22%）を下回った。一週間後にはミネソタ州南西部やアイオワ州北西部で降雪の可能性があり、更に作付けが遅れるとの見方が広がった。来年度積みで、メキシコ向けに24万トンの大口成約が発表されたことも支援材料。ただ、10日移動平均（505.50セント）を維持できなかったため、上げ幅を削った。

米農務省は、2014/15年度積みで、メキシコ向けにコーン24万トンの大口成約を発表した。

22日のシカゴ大豆5月限は19.00セント安の1479.75セント。22日の大豆は大幅続落。作付け遅れによるコーン上昇やドル安で上昇したが、15ドル突破に失敗したあとは、圧碎の利益率低下などにより中国の成約キャンセルが予想されることや、ドル反発、原油急落、テクニカル悪化が嫌気され、前日安値を割り込んだ。立会時間は、6.25セント高で寄り付いたあと、投机買いで時間外取引の高値を突破して1497.00セント（9.75セント高：0.7%）まで上値を伸ばしたが、15ドルにとどかなかったことから戻り売りが優勢になった。

時間外取引の安値や前日安値（1473.50セント）を下回り、1470.00セントまで値を消した。圧碎利益低下による中国の大豆輸入減少予想や、業者の資金繰り悪化による中国の成約キャンセル懸念が圧迫した。原油急落やドル反発も圧迫要因。連休前、一代高値を更新したあとに安引けたことや、買い過剰域に入ったこと、10日移動平均（1475.00セント）を下回ったことから、テクニカル売りも出た。下げが一服したあと、押し目買いで安値から回復したが、売り向かわれて1469.50セント（17.75セント安：1.2%）まで下値を切り下げた。

ドイツ調査会社のオイル・ワールドは、2013/14年度の欧州連合（EU）大豆輸入が6年ぶりの高水準になると予想した。今年度の大豆輸入は1390万トンで、前年度の1330万トンを上回る見通し。圧碎は1350万トンで、前年度は1324万トン。南米産大豆粕の輸入が予想を下回ったことや、EU農家が菜種を売り控えて高値を維持したことから、今年初めの圧碎利益は「非常に魅力的」だった。オイル・ワールドは今年前半のEU大豆輸入を760万トンとし、前回から50万トン引き上げた。

22日のシカゴ小麦5月限は4.75セント高の673.00セント。小麦は反発。7月限は、生育遅れや作柄低下を受けて買いが先行、ドル安やコーン上昇で681.00セントまで上値を伸ばした。ドル反発や原油急落、コーンの押しで時間外取引の安値や前日安値（670.25セント）を下回ったが、669.00セントで下げ止ったあとは、コーンの上値追いはやして反発した。米プレーン南部の東側に慈雨があったが、カンザス州、オクラホマ州、テキサス州に概ね乾燥した天気が予報されることが支援材料。ウクライナ緊張や、フランスなど欧州産地の雨不足、エルニーニョ予測による豪州の干ばつ懸念なども買いを誘い、684.25セントまで上値を伸ばした。ファンドは1000枚の買い越し。（日本先物情報ネットワーク）



TOPICs Crop Progress

トウモロコシ			18州
Planted	前年度	2014年	過去5年平均
4月13日	2%	3%	6%
4月20日	4%	6%	14%

4月20日までのトウモロコシの作付は6%完了。前年の4%よりは多いが、過去5年平均の14%よりは遅れている。

TOPICs 米国の天候

米国産地の天気概況は以下の通り（米農務省HPの天気概況及び予報を要約）。

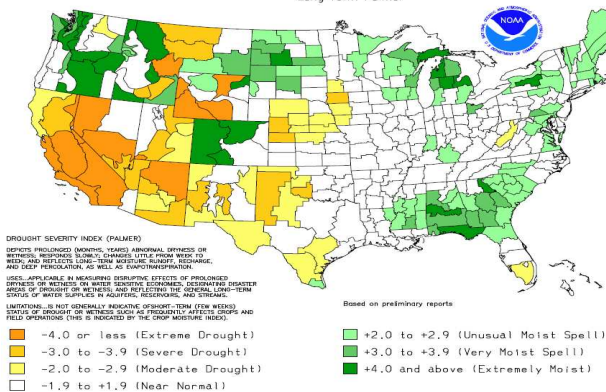
コーンベルトは、オハイオ渓谷や北部のにわか雨が止んでいる。寒冷前線の通過のあと、涼しい天気がコーンベルト全体に広がっている。天気の回復で農作業が再開可能。

米南部は、ケンタッキー州からミシシッピ渓谷下流域を結ぶ狭い地域でにわか雨が降っている。大西洋岸南部を中心に、乾燥した天気で作付けや農作業を促している。米ブレイズは、西部で暖かい天気が広がっている。北はネブラスカ西部まで、本日の最高気温は27℃を上回るだろう。気温上昇はブレイズ全体の農作業を促すが、南部で干ばつの影響を受けた放牧地、牧草、冬小麦のストレスを強めるだろう。

今後5日間、三つの嵐が西から東に移動するだろう。米東部を通過している最初の嵐は、火曜夜までに大西洋岸に到達するだろう。米北西部の次の嵐は、週中に米国中部を通過し、金曜までに五大湖地方を横切るだろう。第三の嵐は、週末に西部に到達するだろう。5日間の雨量は太平洋岸北西部で50～100ミリ、その他の米国北部で25～50ミリとなるだろう。23日、24日とブレイズ東部から米中西部にかけ、少なくとも25～50ミリの雨が予報され、強風や大粒のヒョウを伴うだろう。週末は、米国北部や西部に冷たい空気が広がるだろう。一方、ブレイズ南部や米南西部では、乾燥した空気による火災のリスクが高まっている。

米国の干ばつ状況

Drought Severity Index by Division
Weekly Value for Period Ending APR 19, 2014
Long Term Palmer

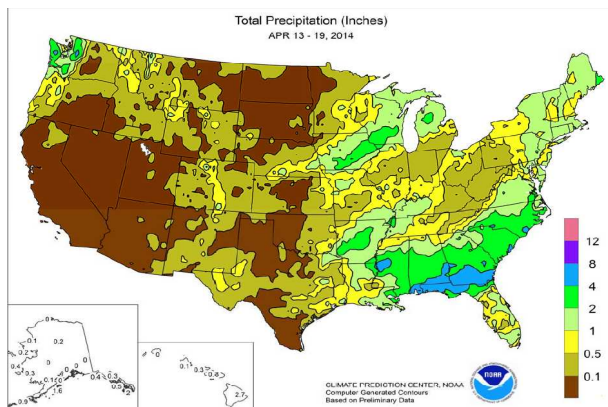


冬小麦			18州
Headed	前年度	2014年	過去5年平均
4月13日	4%	5%	NA
4月20日	9%	7%	17%

冬小麦						18州
作柄	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent	優と良
4月6日	10%	18%	36%	30%	5%	35%
4月13日	12%	20%	34%	30%	4%	34%
4月20日	13%	20%	33%	29%	5%	34%
前年度	14%	19%	32%	30%	5%	35%

春小麦			6州
Planted	前年度	2013年	過去5年平均
4月13日	6%	6%	NA
4月20日	7%	10%	19%

米国の降雨（4月13日～19日）



左の図は干ばつの状況を示し、オレンジ色が濃いところは干ばつとなっている。緑の濃いところは雨量がたくさんある場所である。

4月中旬まで中西部と南部平原は春の寒波に襲われた。そのため果実や冬小麦のHeaded等夏物穀物の生育に影響が出た。ことに中部高原南部の冬小麦にダメージがある。ロッキー山脈の東側でも平年気温以下の天候が続き、中西部の北方でも平年気温より▲10度F（約5.6℃）低い気温であった。中部平原、中西部、北西部で短時間ではあるが、雪が舞うこともあった。アイオワ州からミシガン州にかけては土壌水分は5センチ増えた。南西部では浅い洪水も生じた。



TOPICS 米国産穀物の国別輸出状況

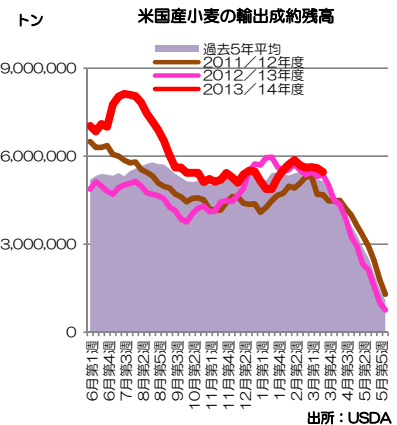
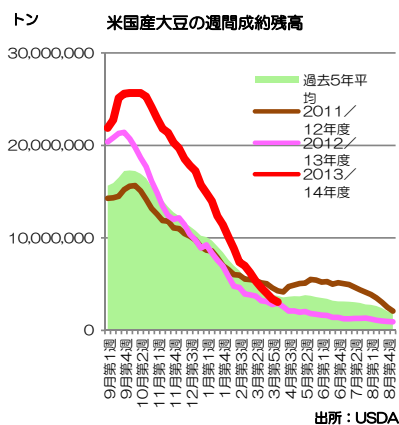
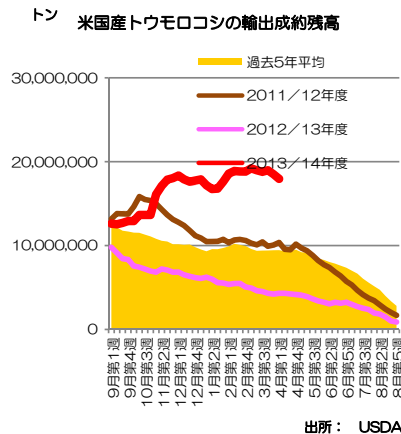
4月10日までの米国産トウモロコシの累積輸出成約高					4月10日までの米国産大豆向け先別累積輸出成約高						
千トン	向け先	今年	昨年	前年比	割合	千トン	向け先	今年	昨年	前年比	割合
1	メキシコ	6,214	2,469	+252%	25%	1	中国	27,516	21,256	+129.5%	66%
2	日本	5,938	4,322	+137%	24%	2	メキシコ	2,092	1,862	+112.3%	5%
3	中国	2,671	2,450	+109%	11%	3	インドネシア	1,677	1,114	+150.4%	4%
4	コロンビア	1,893	38	+4,954%	8%	4	日本	1,314	1,294	+101.6%	3%
5	韓国	1,731	353	+490%	7%	5	スペイン	1,100	838	+131.2%	3%
6	ペルー	1,117	0		4%	6	台湾	976	949	+102.8%	2%
7	台湾	963	370	+260%	4%	7	オランダ	951	735	+129.4%	2%
8	エジプト	717	0		3%	8	ドイツ	676	1,019	+66.3%	2%
9	ベネズエラ	630	543	+116%	3%	9	韓国	564	546	+103.2%	1%
10	サウジアラビア	617	205	+302%	2%	10	エジプト	551	677	+81.4%	1%
11	グアテマラ	457	152	+301%	2%	11	ロシア	450	81	+555.2%	1%
12	コスタリカ	318	61	+526%	1%	12	ベトナム	446	481	+92.7%	1%
13	ドミニカ共和国	317	7	+4,342%	1%	13	タイ	397	560	+70.8%	1%
14	エルサルバドル	250	85	+296%	1%	14	トルコ	385	382	+100.9%	1%
15	ホンジュラス	191	98	+196%	1%	15	フランス	353	130	+271.4%	1%
16	ベトナム	188	0		1%	16	サウジ・アラビア	276	214	+129.4%	1%
17	パナマ	162	55	+293%	1%	17	チュニジア	242	158	+152.7%	1%
18	ジャマイカ	142	155	+92%	1%	18	カナダ	229	181	+126.6%	1%
	その他	609	435	+140%	2%		その他	1,341	1,174	+114.3%	3%
	合計	25,126	11,796	+213%	100%		合計	41,534	33,651	+123.4%	100%

米国産小麦の4月10日までの輸出成約状況					
千トン	向け先	今年	昨年	前年比	割合
1	中国	4082	647	+630.6%	16%
2	ブラジル	3796	174	+2,177.9%	15%
3	メキシコ	2495	2374	+105.1%	10%
4	ナイジェリア	2252	2584	+87.2%	9%
5	日本	2251	3040	+74.1%	9%
6	フィリピン	1713	1730	+99.0%	7%
7	韓国	1092	1235	+88.4%	4%
8	インドネシア	900	435	+206.8%	3%
9	台湾	834	893	+93.4%	3%
10	ペルー	576	383	+150.5%	2%
11	コロンビア	558	510	+109.3%	2%
12	チリ	540	369	+146.5%	2%
13	ベネズエラ	511	516	+99.0%	2%
14	グアテマラ	494	458	+107.9%	2%
15	タイ	486	455	+106.7%	2%
16	ドミニカ共和国	410	420	+97.7%	2%
17	イタリア	384	397	+96.7%	1%
18	エジプト	269	1487	+18.1%	1%
	その他	2447	3786	+64.6%	9%
	合計	26089	21893	+119.2%	100%

4月10日までの週の輸出成約状況は、トウモロコシはメキシコが昨年の2.5倍輸入成約して1位で全体の25%を占め、2位は日本の593万トンで1.3倍の24%、1位と2位でほぼ半分を占める。3位は中国の267万トンで1.1倍、11%、以下コロンビア、韓国、ペルー、台湾、エジプトの順。
全体では2512万トンの輸出成約があり、昨年の2.1倍である。

大豆は、中国が1位で2751万トンと全体の66%を占め、前年の1.3倍である。2位はメキシコの209万トンで前年の1.12倍、全体の5%、3位はインドネシアの167万トン前年の1.5倍で4%、日本は4位で131万トン、昨年並みで全体の3%を占めている。以下スペイン、台湾、オランダ、ドイツ、韓国、エジプトの順。全体では4153万トンと昨年の23.4%増。

小麦は、中国が1位で408万トン、全体の16%を占め昨年の6.3倍。2位はブラジルで379万トン、全体の15%を占め通常アルゼンチンから輸入しているものの振替で昨年の21.7倍に上っている。3位はメキシコで249万トン、5%増で全体の10%、4位はナイジェリアの225万トン、9%を占め昨年より▲13%減、4位は日本で225万トン、全体の9%を占め昨年より▲26%減となっている。以下フィリピン、韓国、インドネシア、台湾、ペルーの順。全体では2608万トンと昨年の19.2%増





ファンドの建玉

までの週	トウモロコシ				大豆				小麦			
	買い残	売り残	ネット買い残	増減	買い残	売り残	ネット買い残	増減	買い残	売り残	ネット買い残	増減
1月7日	306,346	345,196	▲38,850枚	+9,191枚	209,543	73,707	+135,836枚	▲26,922枚	122,172	187,382	▲65,210枚	+1,728枚
1月14日	327,579	344,977	▲17,398枚	+21,452枚	226,923	74,939	+151,984枚	+16,148枚	123,037	175,962	▲52,925枚	+12,285枚
1月21日	323,944	336,704	▲12,760枚	+4,638枚	234,948	80,876	+154,072枚	+2,088枚	123,449	175,780	▲52,331枚	+594枚
1月28日	322,233	321,949	+284枚	+13,044枚	224,330	75,958	+148,372枚	▲5,700枚	122,659	181,060	▲58,401枚	▲6,070枚
2月4日	341,549	285,223	+56,326枚	+56,042枚	237,402	67,227	+170,175枚	+21,803枚	125,994	178,752	▲52,758枚	+5,643枚
2月11日	348,185	256,202	+91,983枚	+35,657枚	264,506	61,870	+202,636枚	+32,461枚	124,053	169,224	▲45,171枚	+7,587枚
2月18日	355,348	247,299	+108,049枚	+16,066枚	280,432	63,692	+216,740枚	+14,104枚	120,615	153,992	▲33,377枚	+11,794枚
2月25日	378,628	211,575	+167,053枚	+59,004枚	284,738	56,395	+228,343枚	+11,603枚	113,220	131,269	▲18,049枚	+15,328枚
3月4日	395,852	171,925	+223,927枚	+56,874枚	290,466	63,555	+226,911枚	▲1,432枚	110,791	114,233	▲3,442枚	+14,607枚
3月11日	417,337	143,248	+274,089枚	+50,162枚	279,852	73,801	+206,051枚	▲20,860枚	111,247	100,407	+10,840枚	+14,282枚
3月18日	414,132	130,011	+284,121枚	+10,032枚	270,638	68,042	+202,596枚	▲3,455枚	111,619	91,567	+20,052枚	+9,212枚
3月25日	414,549	122,852	+291,697枚	+7,576枚	254,773	62,514	+192,259枚	▲10,337枚	118,396	86,141	+32,255枚	+12,203枚
4月1日	424,315	98,971	+325,344枚	+33,647枚	265,296	62,008	+203,288枚	+11,029枚	120,868	80,829	+40,039枚	+7,784枚
4月8日	432,082	101,080	+331,002枚	+5,658枚	257,020	68,520	+188,500枚	▲14,788枚	121,152	84,645	+36,507枚	▲3,532枚
4月15日	423,712	101,245	+322,467枚	▲8,535枚	262,565	68,002	+194,563枚	+6,063枚	116,839	83,912	+32,927枚	▲3,580枚

今後の予想

この時期の穀物価格は天候相場の導入部であり、天候とはもっぱら作付け進捗状況に対する環境と、土壌水分の問題となる。雨が降り過ぎると土壌がぬかるみ作付けがはかどらず、価格は上がることになる。先週まで雪が降る地域もあり、寒波が到来していたが、それも終わり現在は作付けに問題ない状況で、土壌水分も十分である。トウモロコシの作付け進捗状況が例年の14%に対し4月20日まで6%しかできていないことで、トウモロコシは買われたがそれほど際立った問題ではない。それより、トウモロコシも大豆も年初から16%程価格が上昇しており、その裏にはファンドが買い続けてきたことがある。得にトウモロコシは、1月から4月15日の最新週を除き、14週間連続で買いが増加しており、少し買われ過ぎの感があり、トウモロコシ価格は調整安に入りやすい環境にあると思われる。

一方大豆は3月に売り込まれており、ファンドの買い残という意味ではある程度調整されているが、それでも19万枚という多いネット買い残があり、13/14年度の非常に少ない在庫水準（4月需給報告における期末在庫率予想は4.02%）は相当価格に織り込まれていると思われる。

要するに現在の穀物価格は、今後の天候次第でいかにもなるということであり、天候を注目しながら動くと思われる。

掲載される情報は株式会社コモディティ インテリジェンス（以下「COMMI」という）が信頼できると判断した情報源をもとにCOMMIが作成・表示したものです。その内容及び情報の正確性、完全性、適時性について、COMMIは保証を行なっており、また、いかなる責任を持つものでもありません。

本資料に記載された内容は、資料作成時点において作成されたものであり、予告なく変更する場合があります。本文およびデータ等の著作権を含む知的財産権はCOMMIに帰属し、事前にCOMMIへの書面による承諾を得ることなく本資料およびその複製物に修正・加工することは堅く禁じられています。また、本資料およびその複製物を送信、複製および配布・譲渡することは堅く禁じられています。

COMMIが提供する投資情報は、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行動を勧誘するものではありません。本資料に掲載される株式、債券、為替および商品等金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。

本資料は、投資された資金がその価値を維持または増大を補償するものではなく、本資料に基づいて投資を行った結果、お客様に何らかの障害が発生した場合でも、COMMIは、理由のいかんを問わず、責任を負いません。

COMMIおよび関連会社とその取締役、役員、従業員は、本資料に掲載されている金融商品について保有している場合があります。投資対象および銘柄の選択、売買価格などの投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。



発行元：

株式会社コモディティ インテリジェンス
〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1丁目11-3-310
会社電話：03-3667-6130 会社ファックス 03-3667-3692
メールアドレス：kondo@commi.cc